

くめじま

議公だより

2016.9.1

No.57



久米島まつり：大綱曳き

日時：平成28年8月13日（土）

場所：ふれあい公園

久米島の人口・世帯数（2016年6月末現在）

男：4,300人 世帯数：3,987世帯
 女：3,837人
 計：8,137人

6月定例会

6月定例会で決まったこと	2
第3回・第5回・第6回臨時会で決まったこと	3
町政を問う 一般質問	4～12
意見書・決議書「米軍人による女性死体遺棄事件」	13
議会のうごき	14

6月定例会で 決まったこと

平成28年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（第1号）
77億9370万円（3億8550万円増）
- 水道事業会計補正予算（第1号）
3486万円（240万円増）
- 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
1億4717万円（78万円増）

条例の改正、制定

条例の改正 ※賛成多数可決

- 仲原家設置条例の一部を改正する条例について
仲原家設置目的の達成及び適正な維持管理を図るため利用料金を定める必要がある

※全員賛成

- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員法改正及び行政不服審査法の施行に伴い、関係条例を改正する必要がある。
- 消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例
消防組織法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、本条例を改正する。

一般審議 ※全員賛成

- 議決内容の一部変更
儀間漁港第2防波堤整備工事（H27年度）について、防波堤上部工延長増、防食工の数量増、防波堤と護岸取付部の護岸工追加による増額等に伴い契約金額を変更しようとするものである。

平成28年6月（第4回）定例会は、6月27日から28日の2日間の日程で行われました。

定例会では、議案15件を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。27日の一般質問では9人が登壇し活発な審議が行われました。

契約 ※全員賛成

- 電子黒板機能付きプロジェクター調達物品供給契約
契約の方法 指名競争入札
契約金額 1258万円
契約の相手 株式会社 オーシーシー

報告 ※全員賛成

- 平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書
- 平成27年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- 3月定例会で議決を得た、動産買入の契約解除

専決処分 ※全員賛成

- 税条例等の一部を改正する条例
地方税法の一部改正による条例の一部改正
- 平成27年度久米島町一般会計補正予算（第8号）
地方自治法第179条第1項の規定に基づき、平成28年3月31日に専決処分したので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を得る必要がある。

委員の選任・任命 ※全員同意

- 久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任
宮里キミ子氏
- 教育委員会委員の任命
儀間剛氏

賛否が分かれた議案審議結果

賛成○ 反対×

件名	喜久村等	盛本實	平良弘光	崎村正明	吉永浩	赤嶺秀徳	仲村昌慧	喜久里猛	棚原哲也	玉城安雄	安村達明	翁長学	饒平名智弘
仲原家設置条例の一部を改正する条例について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3回臨時会で決まったこと

会期：平成28年6月1日

議員提出

※全員賛成

- 米軍属による女性死体遺棄事件に関する意見書
- 米軍属による女性死体遺棄事件に関する抗議決議

第5回臨時会で決まったこと

会期：平成28年7月6日

契約

※全員賛成

- 久米島町営路線バス購入

契約の方法	指名競争入札
契約金額	2052万円
契約の相手	いすゞ自動車九州株式会社 沖縄支店

第6回臨時会で決まったこと

会期：平成28年7月19日

契約

※全員賛成

- かんしょ加工施設加工設備機器購入売買契約

契約の方法	随意契約
契約金額	7884万円
契約の相手	株式会社光エンジニア

議会の傍聴へ行こう

次回定例会は9月6日(火)開会予定

傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われます。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。

今、まちづくりがどのように行われているか、町民、議会、役場（執行部）みんなで情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。

9月6日 午前10時～

※開会してからは、議場への入室ができませんので、お気をつけください。
(途中休憩がある場合は、入室可能です。)

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号（平成）を省略しております。

問 集落外通学路の防犯灯を 早急に

答 優先順位を決め設置に向け 検討する



玉城 安雄 議員

玉城 水銀灯のLED化により集落内は安全で明るい生活環境が得られている。しかし集落外は未設置が見られその中には通学路も含まれている、今後の対応を伺う。

町長 区長会からも要望を受けている。児童生徒の安全を確保するため集落外通学路の防犯灯設置も必要と認識している。

玉城 現在の集落内防犯灯のLED化事業で設置することは出来ないか。

町長 設置基数が決められていて、継続事業では厳しいが、別の観点から実施可能補助メニューを捜し検討する。

総務課長 優先順位を決め1日も早く実施できるように計画を立てる。

玉城 区長会からの要請では県道の通学路も含まれているが。

町長 県の担当部署の視察の

際に、街路樹の問題、照明の問題を含め要請している。

玉城 児童生徒の安全確保は行政が取り組むべき問題である、区長会の要請もふまえてしっかりと取り組んで欲しい。

問 移住、定住に向け 空家情報の一元化を

答 地域の協力を仰ぎ、
仕組みを構築する

玉城 過疎化と少子高齢化に伴い、町内においても空き家が増えている。移住、定住者向けに空家情報を一元的に管理し空き家が少なくなるよう努力すべきと思うが。

町長 地域興し協力隊の3名の人員を確保し空き家情報を収集しホームページで情報提供しながら、移住、定住に向けたアクションプランを策定する。

玉城 アクションプランとは、

進捗状況は。

企画財政課長 フェイスブック、ホームページを立ち上げ、島暮らしガイドをリリースし、仕事情報、住居情報等、様々な情報を発信し、移住、定住を促進するプランである。

玉城 ーT等を利用するのも良いが、直接都市地区に出向いて移住定住に関する説明会をもつ考えはないか。

企画財政課長 地域興し協力隊のメンバーは全国に散らばっている、彼らのネットワークを活用しつつ、現地説明会も視野に入れ取り組む。





吉永 浩 議員

問 ハーベスタ請負料金の低減を

答 管理組合で協議していく

吉永 農家の所得向上のため、ハーベスタ請負料金の低減に向けた取り組みが必要と考える。現在の料金は県内でも高いと考えるが。

町長 農業生産法人間で意見の相違がある。収入増には農家の肥培管理、除草管理も含めた意識改革も必要と考える。

吉永 近江商人の「三方よし」という考えがある。「売り手よし、買い手よし、世間よし」で考えるならば、農家が良いさとうきびを作りたくなる仕掛けづくりが必要である。単に農家や農業生産法人の努力だけでなく、久米島町、JA久米島、久米島製糖が請負料金の低減に向けた取り組みと一緒に推進する必要があると考えるが。

産業振興課長 ハーベスタ所有管理組合、JA久米島、久米島製糖と引き続き話し合っていきたい。

吉永 機械化は止まらない。農家の生活を今より豊かにする取組みを要望する。

問 障がい者グループホームの整備を

答 前向きに早めに導入したい

吉永 障がい者や、障がい児が、「親亡き後」も島で安心して暮らせるためには、障がい者グループホームを早急に整備する必要があると考えるが。

町長 島内での施設整備は必要だと考える。可能な限り島で立ち上げる為に、前向きに早めに導入したい。

吉永 補助金の確保努力あるいは既存の建物改修等、町が全面的に支援して整備していく事を提案する。

問 町内に意見箱の設置を

答 実験的に設置していく

吉永 行政に対する多様な要望等を積極的に集める意見箱の設置状況は。

町長 庁舎等に意見箱などの設置はしていない。

吉永 医療機関や保育所、子育て支援施設、農協や漁協など町民が多く集まる場所に意見箱を設置する事が、住民サービスの質の向上につながると考えるが。

総務課長 実験的にでも設置する方向で進めていきたい。



問 サトウキビ生産目標の 取り組みは

答 面積拡大と生産意欲を高める



仲村 昌慧 議員

仲村 町長は一次産業の復活として、サトウキビ生産量7

万tを目標に掲げているが、今期の生産量は約4万tと前年より約2千tの減産となった。その要因は、単収と収穫面積が減少したことである。

今後、生産量7万t目標達成に向けてどう取り組むか。

町長 生産量目標7万tについては、サトウキビ振興協議会を中心に関係機関と連携し、遊休地の解消を図り作付け面積の拡大とともに農家の生産意欲を高める必要があると考えている。

仲村 具体的にどのような支援をしていくのか。

産業振興課長 サトウキビに關してはいろいろな補助を出して対応している。今後堆肥・農薬の補助を積極的に行い、サトウキビの増収につなげていきたい。

仲村 補助事業で、農家が購

入するサトウキビ苗の価格は適正か。

産業振興課長 資料の中身を見て高いと感じている。補助事業である以上ある程度農家が納得して負担も軽く増産につながるような仕組みをつくらないといけないと考えている。十分中身を精査し見直していきたい。

問 具志川漁港の復旧を

答 整備に向けて工法を検討

仲村 具志川漁港の取り扱いについては、過去の議会で漁港として復活できるかどうかの判定と、廃港も視野に入れた調査を進めると答弁しているが、町の方針を伺う。

町長 具志川漁港については復旧してほしいと要請してきた。県の考え方としては鳥島

漁港と一体型の施設という解釈のもとであれば将来的には復旧が可能であるとの返事である。県とは整備に向けて工法を検討している。

仲村 長い間放置して見苦しい状況である。早期の復旧はできないか。

建設課長 事業として整備する方向で、事務方として進めている。





平良 弘光 議員

問 町地域防災計画の見直しは

答 地域防災計画の見直し・基本計画の策定を計画

平良 町長も東北の津波が起きたとき映像も見ているが防災に対する考え方を伺う。

町長 本町においても非常に危険性はあると感じている。役場そのものも標高4メートル弱の位置であり、将来的に東北の地震・津波がくると、大変なことになるかと思う。今後は、公共施設を、高台地域に新築するのが、本来の姿かと思う。

問 生産力の向上を

答 土壌改良を行う

平良 本町の農業の生産力を向上させ農家の増収につながるようにどう取り組むのか。

町長 流しコーラルを2種類の細かい粒子に加工できる機械を業者が補助金で導入している。現在、成分分析を沖縄県環境科学センターに出して

おり、その結果が9月中にわかると報告を受けている。その後、協力できる農家のほ場にて、実証試験を行う。

平良 事業所単独では負担が多すぎる。行政側も積極的にこの問題に関与して、早めに関係機関で協議会を立ち上げ、久米島の農業の生産力を向上させ農家の増収につながるよう積極的に進めて行くことを期待する。

問 かんしょ加工所は

答 創業は10月から

平良 かんしょ加工所の会社名、生産農家数、役員及び従業員は。

町長 スイートフーズ久米島株式会社、生産農家40名で従業員は従業員は新聞折り込み等で募集。

かんしょの生産農家は増えていく。農家の期待にこたえ、透明性のある経営を。



(かんしょ加工所)



盛本 實 議員

問 今後の重点施策は

答 海洋深層水関連事業の推進

盛本 町長就任後の自己評価と掲げた政策への取り組み及び、今後重点的に取り組もうとしている施策は。

町長 掲げた政策の取組については、おろそかになっていくものはない。今後は海洋深層水産業の発展に大きく期待している。また各種産業の活性化による雇用創出や子育てしやすい環境づくりに努力をしていく。

問 人口減少による収入・行政サービスは
答 税収や交付税は減少

盛本 労働人口の減少や消費市場の縮小による経済活力の低下で税収減や地方交付税の減少に伴う行政サービスへの影響は。

町長 人口減少により、税収や交付税が減となった場合は当然行政財政基盤がより脆弱

となるため公共事業の減少など、各種行政サービスの低下は否めない。生産年齢人口が減ることにより、行政サービスの低下以上に農林水産業や商工業といった地場産業の衰退が懸念される。

問 パークゴルフで国際交流を

答 国際大会を目指す

盛本 パークゴルフの普及、知名度の向上、国際交流を目的として、近年パークゴルフブームが巻き起こっている韓国へのプロモーションが必要だと思おうが。

町長 パークゴルフは近年、海外でも普及する中で、誘客プロモーション活動は久米島町観光協会の離島活性化事業を活用し、国際交流大会の誘致については、トップセールスが必要であれば積極的に取

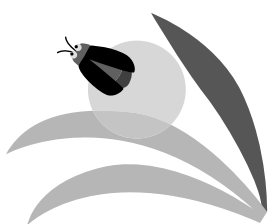
り組んで行く。

問 全国ホタル研究会の誘致を

答 意思表示をする

盛本 クメジマボタルの保護・環境の保全の啓発及び観光振興の面から全国ホタル研究会の誘致を。

教育長 ホタル館、博物館、観光協会、その他関係団体との協力体制を整えつつ進めていく。今年の7月に鳥取県で開催される全国ホタル研究会において立候補の意思表示をする。





赤嶺 秀徳 議員

問 複数路線の可能性は

答 現状は厳しいが継続して取り組む

赤嶺 航空運賃低減に向けたダブルトラックについて、二

七年十二月と去る三月の議会で質問をした。その答弁で三月二十五日までの調査期間と調査内容、可能性について調査、更に調査期間内に別の一社の訪問を予定している。そこで最初の一社の結論は。

商工観光課長 需要の大きな路線に注力して収益を優先にしている。久米島の旅客規模や条件から新規参入は困難であると判断している。

赤嶺 調査期間内の他の一社の訪問は。

商工観光課長 三月十六日に訪問久米島空港の利用実績や観光の状況及び諸施策を説明して路線開設について意見交換を行ったが現状については厳しい見通しである。しかし、意見交換を継続的に行うとの事で担当者を配置したので県関係課と連携を図りながら継

続的に取り組んで行く。

問 県道89号線の改良は

答 関係機関と協議中である。

赤嶺 三月定例議会で県道八九号線、儀間・嘉手刈地内の横断歩道等粗悪な道路環境の質問に、早急に事業採択するよう要請するとの答弁であった。採択に向けての要請は文書か単に言葉か。

町長 三月議会終了後に横断歩道等粗悪な環境を報告して、早急な改良が必要である旨強く要望した。文書の要望ではなく関係者協議を実施した。

赤嶺 横断歩道については所轄署と協議したか。

町長 那覇警察署交通対策課と協議中である。

問 製糖工場南側の浜は、人工ビーチか

答 海岸の保護目的浜である。

赤嶺 製糖工場南側は人工ビーチか、不法投棄も発生している。

町長 海岸保護目的でビーチではない。

赤嶺 管理は、どの課か。

町長 建設課、儀間漁民組合に日当賃金。

赤嶺 駐車場の整備は。

町長 漁港整備が目的で駐車場の計画はない。

赤嶺 予算を付けて管理は可能か。

町長 担当課と協議し管理委託する方向で調整する。

問 ハーベスタ導入を

答 リース会社に委託を検討



喜久里 猛 議員

喜久里 キビ農家の高齢化に伴い農業機械、特にハーベスタについては農家の希望する台数を確保する考えがあるか。

町長 今年度は二ヶ所の生産法人で二台導入する。

喜久里 農家あるいは集落で一台のハーベスタを持つ時代だと思う。久米島で十台欲しいと要求した場合その覚悟があるか。

町長 農家がそれぞれ大型機械を保持すると、その管理が非常に経費が掛かる場合があるので、一元化して、リース会社に委託することが出来な
いか検討したい。

問 待機児童はいないか

答 数名の待機者はいる

喜久里 希望する児童は全て受入れられないか。

町長 入所実施基準により該

当しなければ保育の対象とならない。

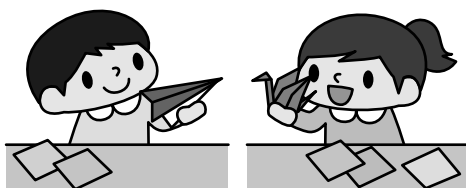
喜久里 若い夫婦が家族でUターンして久米島に永住しようと思っているが、子供を保育所に入所させたいが入所出来ないとの事である。人口を増したかったら、しがらみとか制度とか言わずに、夫婦が子供を預けたかったらいつでも受け入れるという保育所運営であつて欲しい。制度というのは変えられる。

福祉課長 そういうことも、含めて現在やっていこうという方もいまして、福祉課でもやり取りしながらいろんな情報も交換しながらやろうという事業者もいるので、そのへんを進めていきたいと思っています。

問 グレーチングきしみの調査を
答 非常に迷惑のかかる箇所は調整して処理させる

問 清水小学校の動物飼育は
答 動物飼育については、学校の判断に任せる

これも質問





棚原 哲也 議員

問 イーフビーチ、奥武島の保全対策を早急に

答 現状を把握して関係課を集めて対策を検討していきたい



棚原

イーフビーチは裸足で歩ける安全な海水浴場だったのが現状はサンゴの欠片で足が痛くて靴を履かないと水中に入っていけない。

町長

現状を把握し関係各課を集めて対応していきたい。

棚原

奥武島の砂洲も護岸等のコンクリート整備がされて

以降変化していつています。

早めに調査着手するよう要請していただきたい。

町長 今年度から調査を実施する。

問 錢田森林公園の整備の進捗状況は

答 予算確保設計を含め着工がされる可能性あり

棚原 整備された場合森林公園内に全部移るのか。

プロジェクト推進室長 球美

の里は施設が手狭ということもあってもう一つそういった施設という流れになっているんですが受け入れる人数も含め連携して運営していこうという話です。

棚原 町民と宮崎さん双方が納得するようなかたちで調整はされているか。

プロジェクト推進室長 議論

している最中です。

棚原 錢田森林公園、周辺を含め自然公園の網がかかっていると思いますが許可を得るための条件整備併せて二年以内の完成を目指してやっついで

町長 一日でも早く完成することを望んでいきたい。



問 牛糞回収の遅れは

答 機械等の故障



翁長 学 議員

翁長 和牛農家が、堆肥センターに回収を依頼しても待たされている。

町長 回収の停滞は、タイヤシャボ、4t車の故障で修理の為。

翁長 機械等の故障と言うが、その他に施設の構造に不備がないか。

産業振興課長 構造としては、

牛糞を回収し、バカス等で、水分調整をし、建物で、かくはんをして堆肥作りを行う施設となっている。

翁長 本町の施設は、切り返しの方法で効率が悪いと聞いている。不備に関しては改善してほしい。

産業振興課長 解決策として

堆肥センターの裏手に町有地がありコンクリートを敷き、そこで十分、水分を抜くと発酵が早くなる。

翁長 解決策として他に、畜産環境アドバイザーの資格を

持っている方がいて、指導をあおぎながら、水分70%以下を保てば発酵が早いと聞く、農家の回収依頼に対応してほしい。



(堆肥センター)

編集後記

熱中症は、大丈夫ですか？

編集後記を書いている七月は、連日33度以上の記録的な暑さです。熱中症で、病院に運ばれる人が、いると聞く。

町民の皆様は、水分をしっかりと取り、健康管理に十分注意して下さい。また、今年は、台風も少なく、いつもと違う夏である。今所、さとうきびも順調に生育しているが、たまには雨がほしいところである。台風がこないとまとまった雨は、期待できない。

そして、今年の久米島まつりでは、3年振りの大綱引きがある。町民の皆様ふるって参加しよう。

(翁長)

広報委員

仲村 昌慧
 崎村 正明
 翁長 智学
 饒平名 智弘
 吉永 浩

米軍属による女性死体遺棄事件に関する抗議決議を行った。6月1日（水）臨時議会を開催し抗議決議と意見書を採択した。

米軍属による女性死体遺棄事件に関する抗議決議

4月28日から行方不明になっていたうるま市在住の20歳の女性が、5月19日恩納村の雑木林で遺体となって発見された。沖縄県警は同日、死体遺棄の容疑で、嘉手納基地で働く元海兵隊員で米軍属の男を緊急逮捕した。その後、容疑者は女性暴行や殺害についても供述しているとの報道がなされている。

今回の事件は、将来に夢を抱く若い女性の尊い命を奪うという極めて残虐で凶悪な事件であり、親族や友人、関係者、さらに沖縄県民に大きな衝撃と不安を与えるとともに深い悲しみと激しい怒りの声が広がっている。

沖縄県民は、戦後70年を経た今もなお、基地あるがゆえに多くの犠牲と過重な負担を強いられており、今年3月にも米軍人による女性暴行事件が那覇市のビジネスホテルで発生したばかりであった。

本町議会は、米軍による事件・事故等が発生するたびに抗議を行ったものの、綱紀粛正などの取り組みの実効性は全く上がっておらず、またしても県民が犠牲となる凶悪事件が発生したことは断じて許せるものではなく、激しい憤りを覚えている。

日米両政府は、こうした凶悪な事件が戦後70年余も幾度となく繰り返されている事態を深刻に受け止め、これ以上の沖縄県民の犠牲を断ち切るべく、実効性ある抜本的な対策を講じるべきである。

よって、本町議会は、県民の人権と生命、財産を守る立場から、今回の米軍属による女性死体遺棄事件に関し、渾身の怒りを込めて厳重に抗議するとともに、関係機関に対して、下記の事項の徹底、実現を強く要求する。

記

1. 遺族への謝罪並びに完全な補償を行うこと。
2. 米軍人・軍属等の綱紀粛正と人権教育を徹底的に図るとともに、実効性のある抜本的な再発防止策を講じ公表すること。
3. 日米地位協定に規定されている米軍属の管理体制と責任の所在を明らかにすること。
4. 基地の整理、縮小を含めた日米地位協定の抜本的な見直しを行うこと。

以上、決議する。

平成28年6月1日

沖縄県久米島町議会

あて先

在日米軍司令官、在沖米国総領事
在日米軍沖縄地域調整官、駐日米国大使

意見書のあて先

内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄特命全権大使、沖縄防衛局長

